

令和7年度 高知県道路利用者会議 高知県要望活動

令和7年11月20日(木)に高知県道路利用者会議(会長：森本 敬一)が、国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所・土佐国道事務所及び西日本高速道路株式会社(NEXCO西日本)四国支社高知高速道路事務所に対して、四国8の字ネットワークの整備促進や直轄国道の渋滞対策について要望を行いました。

■要望項目

- ①四国8の字ネットワークの整備促進
・事業中区間の早期開通
- ②暫定2車線区間の4車線化の早期実現(高知IC～須崎東IC間)
- ③国道32号(高知市介良～南国市岡豊町小籠)の渋滞対策

※NEXCO西日本へは②を要望

■国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所・土佐国道事務所への要望

【提言概要】

- ・四国8の字ネットワークは地域の活性化に大きな効果があるほか、大規模災害時に「命の道」となる重要な道路であるため、早期開通をお願いする。
- ・国道32号(高知市介良～南国市岡豊町小籠)において、通勤時間帯に渋滞が発生しているため、混雑原因を特定のうえ、有効な対策をお願いする。



▲左から、前田副会長、柳川中村河川国道事務所長、森本会長、樋口副会長、山本副会長



▲左から、前田副会長、藤木土佐国道事務所長、森本会長、樋口副会長、山本副会長

【回答】

- ・四国8の字ネットワークについては、引き続き、事業中区間の早期開通ができるよう努めるほか、高知県で整備を進めている北川道路についても支援していく。
- ・国道32号の渋滞について、過去に渋滞対策を実施し、一定の効果があつたと認識しているが、今回の要望を受け、改めて該当区間の交通状況を調査し、有効な対策を検討したい。

■NEXCO西日本 四国支社 高知高速道路事務所への要望

【提言概要】

- ・8の字は、地域防災力・経済活動を支える社会基盤。
- ・能登半島地震でも、道路の被災により救命活動等に支障をきたした。
- ・南海トラフ地震時には、緊急輸送道路としての重要な機能を持つ。
- ・2車線区間では、事故による通行止めが長期化するほか、安全性向上のため、4車線化が必要。
- ・大規模災害時の早期の交通機能回復のためにも、4車線化は必要。



▲左から、山本副会長、森本会長、藤本高知高速道路事務所長、田中副会長

【回答】

- ・4車線化が事業化した際、遅れることがないように、調査・検討を進めていきたい。
- ・暫定2車線区間においては、区画柵の設置など安全対策を推進していきたい。